

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 都整-48 施設整備事業(終末) <input type="checkbox"/> 支援部門						
主管課	浄化センター	関連課	下水道河川課				
分野名	下水道・河川						
目標 (目標値)	下水処理施設の機能回復により、汚水の適正な処理を図る。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人			
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数	177,895	177,224	177,204			
運営資源状況	決算値(千円)	24,600	961,000	759,600			
	(国・県)	12,546	533,104	427,438			
	(負担金等)	8,600		294,976			
	(一般財源)	3,454	427,896	37,186			
	人員配置数	1.5人	1.4人	1.5人			
	人件費(千円)	11,420	11,077	12,850			
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	36,020	972,077	772,450	対象者1人当たりの 経費は、処理区域 人口として算出して います。		
	市民1人当たりの経費(円)	202	5,485	4,359			
	対象者1人当たりの経費(円)	202	5,485	4,359			
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
		目標値					
		実績値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
施設整備事業	24,600	終末処理施設整備事業	55,830	今後の方向性	B	理由・手法	浄化センターの万全な維持管理を継続しつつ、維持管理経費の削減を図る。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	山崎浄化センター汚泥焼却設備等の老朽化対策(長寿命化計画に基づく改築更新)業務を講じる。七里ガ浜浄化センターの再構築基本設計(耐震診断)を行う。						
課題解決のための取組	老朽化した汚泥焼却設備の長寿命化計画を策定した。					取組の結果	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題							
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性	○	②妥当性	○
				③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	長寿命化計画に基づく、汚泥焼却設備の詳細設計業務を行う。また、汚泥処理施設の長寿命化計画策定等、老朽化した施設の再構築を順次進める。					➡	B
							※□事業完了

評価者名

浄化センター所長

協 一則

